

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月 9日 更新

事務事業名		下水道使用料金決定収納等事務				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	水道局	課長名	水野 孝春
	施策	10	水環境の保全			所属課	上下水道課	担当者名	松岡 綾
	基本事業	30	水質の浄化			所属班	庶務料金班	(内線)	1164
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	下水道法、下水道条例 合志市下水道使用料減免規程	成果優先度評価結果	: ⑫
	下水	1	1	1	10223			コスト削減優先度評価結果	: -
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	下水道使用料の決定収納について、水道事業会計に事務(納付書作成、徴収、検針等)を委託する。下水道事業を開始すると同時に下水道施設の整備及び維持管理を行うため、また、その財源確保のために開始した。平成24年度より上下水道料金徴収業務等については民間事業者へ委託している。平成25年度より使用料改定を行い約18%の料金収入増を見込んでいる。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> 下水道使用料算定に伴う検針及び調定、納付書、督促状及び催告状の作成、発送、個別徴収、徴収及び検針員雇用事務、使用休止及び開始に係る事務、量水器(水道用)の管理(法定交換等)に係る事務等を水道事業会計に委託し、負担割合を定めて負担金を支出する。 過剰納付を決定し、通知及び支払(還付)う事務については、下水道特別会計で直接行う。
【主な予算費目】	報償費、備品購入費、負担金補助及び交付金、償還金利息及び割引料(還付金)
【意見や要望】	使用料の未納額がそのまま、財源の不足に繋がり、議会等より徴収率の更なる向上を要望されている。使用者から、クレジット払いを可能にして欲しいとの要望がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	<ul style="list-style-type: none"> 下水道使用料算定に伴う検針 賦課(決定) 収納 量水器の管理 各種データ作成 以上を水道事業会計に委託し、必要な負担金を支払う。 ・平成25年度下水道使用料改定に向けて法令の整備、周知等の準備を行う。	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		負担金支出事務等・下水道量水器の管理、データ作成、電算処理事務等
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 千円	予算の主な増減の理由
→ ア 調定額(現年度)		前年度と同額程度を見込んでいる。
イ 調定額(過年度)	千円	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
・下水道使用者		(単位) 世帯
		→ ア 下水道使用者数(世帯)
		イ
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
①正確な下水道使用料算定となっている。		(単位) %
②確実に使用料を納入してもらう。		→ ア 正確に決定した調定の割合
		イ 収納率(現年度)
		%
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
①正確に決定した調定の割合をみることで、正確な下水道使用料の算定になっていることを確認できると考えた。調定の誤りは起こしてはならないが、人的及び機械的遺漏も考慮して実績を元に設定した。②収納率(現年度)をみることで、確実に使用料を納めていたかどうかを確認できるが、既に高水準にあり、経済弱者等の実情も踏まえ、この状況を継続することを成果として設定した。		0

(2)各指標・総事業費の推移	単位	22年度	23年度	24年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア 千円	563,964	575,359	590,000	571,755	660,625	670,000	670,000	670,000
	イ 千円	7,319	8,634	3,000	8,035	3,000	3,000	3,000	3,000
②対象指標	ア 世帯	18,025	18,552	18,550	18,931	18,560	18,570	18,580	18,590
	イ								
③成果指標	ア %	99.98	100	99.9	99.97	99.9	99.9	99.9	99.9
	イ %	99.1	99.4	99.2	99.4	99.3	99.3	99.3	99.3
投資入費量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	17,221	20,003	28,474	26,387	27,701	28,000	28,000
	繰入金	千円							
	一般財源	千円							
	(A)事業費計	千円	17,221	20,003	28,474	26,387	27,701	28,000	28,000
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	28,456	260	27,701	10	10
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	6	5	6	6	6	6	6
延べ業務時間	時間	959	800	1,000	820	1,000	1,000	1,000	
(B)人件費計	千円	3,951	3,230	4,038	3,338	4,038	4,038	4,038	
トータルコスト(A)+(B)	千円	21,172	23,233	32,512	29,725	31,739	32,038	32,038	

事務事業名	下水道使用料金決定収納等事務	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 平成24年度より上下水道料金徴収業務等については民間の事業者に委託している。使用料徴収を専門に行えることで更なる収納率の向上を見込める。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 上下水道料金の徴収については平成24年度より民間の事業者に委託している。確実な実績をあげ、既に高水準で推移しており、向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の経費であり、削減の余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の人員で業務を行っており削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 下水道使用者について、使用料等により相応の負担をいただいております公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 下水道事業は行政が行うべき事業であり、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

正確な調定に努め、生じた差異も適宜修正決定することができた。また、収納率も高水準で推移し目標を達成することができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>今後も正確かつ迅速な調定決定を図り、高水準の収納率の維持を継続する。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						